



健康クリニック

村木クリニック院長 医学博士

村木 宏要 先生

●肺炎球菌の感染予防が大事な理由
一言で言うと、肺炎球菌感染率が高いためです。激烈な場合、数時間のうちに、みるみる状態が悪化し、亡くなってしまうことがあります。
もちろん、全員が重症になるわけではありません。

球菌ワクチン「コードバルバックスNP」(Pneumovax)23価肺炎球菌ワクチン(+)は、2歳以上の小児・成人を対象にしております。

②乳幼児用肺炎球菌ワクチン

米国で、小児に使用されています。このワクチンの最大の特徴は、2歳以下の小児に対して十分な免疫を付与でき、ワクチンに含まれる型の肺炎球菌による皰膜炎などの重篤な感染症予防に有効であるとされています。このワクチンは、日本国内では生産されておりません。(詳細は、ワクチン施行病院にて確認する)。

ここ数年でインフルエンザワクチンの接種が定着しましたが、もう一つ高齢者に有効なワクチンがあります。「肺炎球菌ワクチン」です。一肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌による感染症を予防するワクチンと説明されています。実際、「肺炎球菌ワクチン」は肺炎の発症そのものを完全に予防することはできません。しかし、肺炎が重症になると死んでしまうことがあります。ただ、肺炎球菌以外の病原体が原因の肺炎に対しても、「肺炎球菌ワクチン」は全く無効です。したがって「肺炎球菌ワクチン」を打つば肺炎にかられない、ということでは決してありません。

肺炎の重症化を防ぐ「肺炎球菌ワクチン」の接種

けではありませんが、高齢になると、また、肺気腫(COPD)をはじめとする慢性の心臓、呼吸器、肝臓腎臓等の病気をおもちの方で死亡率が高くなります。

●「肺炎球菌ワクチン」接種が不適切な方

- 過去に「肺炎球菌ワクチン」を接種したことがある方
- 免疫抑制剤を使用している方
- 明るかな発熱のある方
- 2歳未満の方(但し、2歳未満用のワクチンを扱う小児専門病院があります。)

● 健康保険の適応について
2歳以上の脾臓摘出の方にのみ
健康保険が適用されます。それ以外の方は自費での接種となります

●「肺炎球菌ワクチン」の副作用
注射をした場所の腫れ、痛み、熱感がみられることがあります。が、重い副作用の報告は非常に少なく、安全性は高いと考えられます。

●フクチシは1回の接種で約5年

間有効接種のタイミングは?
インフルエンザワクチンの効果は5ヶ月程度しか持続しませんが、「肺炎球菌ワクチン」は一回の接種での免疫効果が約5年持続すると考えられています。ですから毎年接種する必要はありません。(ただし、接種後、免疫(抗体)ができるまで1ヶ月程度の時間がかかります。)しかし、日本

●「肺炎球菌ワクチン」の公費補助

一肺炎球菌^{イソラクチウム}の両方接種
エンザフワクチノの両方接種
インフルエンザにかかった後に肺炎を発病することがしばしばあります。そのため、肺炎球菌ワクチンとインフルエンザワクチノの両方を接種すると、単独の接種よりも高い肺炎の予防効果があります。「肺炎球菌ワクチノ」の有効率は約60%～80%で、その効果は人によつて異なりますが、前述の如く約60%間継続すると言われています。海外データによると、喘息などの慢性格疾患を持つ高齢者に、「肺炎球菌ワクチノ」とインフルエンザワクチノの両方を接種することにより、入院を63%、死亡を81%減少させたとの報告があります。

●次のような方に「肺炎球菌ワクチン」の接種が勧められています

心臓や呼吸器に慢性の疾患がある方
脾臍を摘出した方
腎不全や肝硬変の方
糖尿病の方

村木クリニック
TEL 072-277-16639
所在地 堺市中区宮園町2-16